

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月3日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100781
法人名	社会福祉法人 翔風会
事業所名	グループホーム つわぶき
所在地	鹿児島県鹿児島市喜入町6987番地 (電話) 099-202-0080
自己評価作成日	平成29年1月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・環境的に過ごしやすく、地域的にも施設の前は小学校で日中は子供たち声運動する姿、登下校挨拶、夜間は静かに良眠出来ます。
- ・東、南向き居室で日光もよく、居室が明るい。
- ・隣接しているクリニック(協力医機関)急変時もすぐに対応可能です。
- ・周辺には市役所(支所)郵便局、交番、銀行、図書館、スーパー、JR駅、バス停地域住民との関わり出来る環境が備わっています。
- ・小学生交流も充実して楽しみが増えました。
- ・花火は屋上から観賞出来る。
- ・地域交流も盛んになってきました(折り紙、おやつ作り、餅つき、門松作り、焼き芋、ちまき作り。
- ・けんこうフェスタ3回目4月30日の予定。
- ・行事のある時はDr(マジックショーが見られます)

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は4階建の特別養護老人ホームの中の1階にあり、設備が整っている。玄関前の道路は広く小学生が登下校時に大きな声で挨拶や話しかけている。馴染みの小学生に会えることも楽しみの一つになっている。
- ・利用者はホールで過ごすことが多く、仲が良く大きな声で話したり、切り干し大根やおやつづくり・食事の手伝い等をしながら楽しく暮らしている。訪問看護師の来訪や笑い転げる理事長のマジックショーは、心の健康につながっている。
- ・管理者は、常に理念に沿った支援を心がけている。利用者一人ひとりが安心して暮らせるように個性豊かに思いやりの精神を持って支援している。職員とも話しやすい雰囲気があり、良い関係を築いている。法人内外の研修を受ける機会の確保や資格取得の支援も行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の申し送り後に理念を唱和しています。職員会議開催前に理念を唱和します。</li> </ul>	<p>地域密着型サービスの意義を踏まえた理念をリビングや職員室・トイレに掲示している。申し送り時や毎月の職員会議で唱和し、日々のケアを振り返り、実践につなげている。職員は個々に目標を設定し取り組んでいる。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも訪問を受け入れている。</li> <li>・行事等の連絡をしている。</li> <li>・回覧板。</li> <li>・行事の参加、行事等招待。</li> <li>・食材の頂きもの。</li> </ul>	<p>自治会に加入し総会や清掃に参加したり、地域行事の夏祭りや運動会・六月灯の見物に出かけている。ホームへ日本舞踊や地域踊り・ハーモニカのボランティアの訪問がある。小学生との交流や母体法人と共に学校に雑巾を贈呈している。地域からは野菜の差し入れもある。日常的に地域と交流している。</p>	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校へ雑巾寄付。</li> <li>・地域包括センター交流、研修</li> <li>・民生委員との交流。</li> <li>・自治会長交流。</li> <li>・近隣との交流。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長（Dr）医療関係や行政の報告、病気に対しての説明。</li> <li>・自己評価は運営推進会議で報告しています。</li> </ul>	<p>2ヶ月毎に会議を開催している。事業所の事業報告や利用者の現状・外部評価の報告・医療関係・認知症について等の報告を行い意見交換している。参加者からも情報を聞き有意義な会議になっている。防災訓練に地域住民の呼びかけを行ったり、小学校の運動会に応援の字幕を掲げる等、意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険更新。</li> <li>・選挙投票（期日前投票）</li> <li>・事故報告。</li> </ul>	<p>市の担当者とは介護保険の更新の時等に窓口で相談し、アドバイスを受けている。生活保護関係で保護課の訪問もあり、日頃から協力関係を築いている。電話でもアドバイスや情報を受けている。行政主催の研修会に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の同意をもらって拘束するときは行っております。</li> </ul>	<p>身体拘束マニュアルを基に、法人の全体会議での勉強会に参加し、職員会議で伝達研修を行っている。身体拘束の対象になる具体的な行為や言葉の拘束も含めて、職員は理解している。昼間は玄関の施錠はせずに外出傾向のある時は、常に見守り支援を行い一緒に散歩している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・虐待しない方法、ストレスをためない、研修をしています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・利用者や家族の要望を聞きながら本人ペースで生活できるよう、何事にも強制しない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・入居申し込み、本人、家族へ何回でもホーム見学をされてホームの生活状態を見てもらっています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・本人家族の相談は受け持ち担当者、又連絡ノートに記載、又、会議等で解決しています。</p>	<p>利用者がなんでも言える雰囲気づくりに努め、言動や表情から思いを把握している。利用者への職員担当制を行っている。家族からは面会時や家族会・担当者会議・電話連絡等で意見や要望を聞き、連絡ノートでも把握している。個別な相談は地域交流室でゆっくり対応し運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・朝礼や職員会議、理事会全体会議、上司に相談出来ますb。</p>	<p>管理者は職員会議や全体会議で職員が意見を述べる機会を設けている。朝礼や日々の勤務の中でも気軽に話しをして、職員とコミュニケーションをとっており、相談しやすい環境にある。利用者の状態やケアの事・備品購入等、意見を取り入れている。自分自身の事も、管理者に相談している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・働きやすいように職員の声を聞き入れてくれています。故障時はすぐに対応される。働きやすいように勤務状態調整も可能。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・勉強会、外部、施設内研修を行い、職員全体が向上する取り組みをしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・浜田グループ会議、はまゆう交流を行っている。喜入地区認知症包括連携勉強会。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・基本情報、Dr, 他の部署、家族、知人、本人に関わる人からの情報を重要しています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・いつでも、何回でも面会をして、利用者の状態を見て頂き要望等は受け入れて共に学んでいる。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・利用者の声、家族の言葉を重要し、いつでも話し合いの場を設けています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・理念に沿って人格の尊重、思いやりの精神、本人ペース、様子観察をしっかりと行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・面会時、キーパーソンへは現状、定期往診、検査結果チェック表で説明をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・在宅生活用品を持ち込まれて、安心した生活が出来るように設置場所は本人へ聞きながらおこなっています。	小学校からの友人や知人・家族・親戚等、面会者が多い。居室や広い地域交流室でお茶を出してゆっくり話しをしている。家族と同行し墓参りや買い物に出かけている。馴染みの美容師の訪問もある。地域行事への参加や電話の連絡を取り持つこともある。馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・利用者同士会話や作業、調理等がしやすいように空間提供しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退所後も家族との行事関係、認知症などについて相談を受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の訴えを傾聴や表情や様子を観察しながら、出来る事はすぐにでも対応、無理なこと家族連絡、家族を交えて話し合いを行う。	日頃の関わりの中で、言動や表情から思いを把握し連絡ノートに記入して職員で話し合い対応している。困難な場合は、表情やしぐさから思いを把握し、家族や知人・関係者と連携をとって、本人の思いに沿うよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・個々の性格、習慣を崩さないように本人が暮らしたい希望に沿ったケアを統一している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・健康状態はDrの指示、食事に対しても、生活能力面に添って一緒に行動や作業、調理、好きなこと等ゆっくりし過ごせるように努める。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・何時もの聞き取りや担当者会議、カンファレンス、モニタリングで状況について意見や要望、結果などを説明し話し合っている。	利用者や家族の意向をふまえ担当者会議で、医師から利用者の状態等を説明してもらい、個々に応じた介護計画を作成している。カンファレンスを毎月実施し、担当者会議は6ヶ月毎、モニタリングも6ヶ月毎に行い、状況が変化した時は、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・利用者の毎朝のバイタル・サインを行い日中、夜間帯の様子の申し送りを毎日しております。介護記録に状況を記録し残しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・ケアプランに沿ってケアを行っている。毎月のカンファレンスの結果をチェック表に記載しケアに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・きいれ浜田クリニックの定期的な往診を受け、検査等、交通面少ない会時間に散歩散策、武家跡。状態において協力医療機関連携を取っています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・在総診、定期的に往診治療や急変時の往診を受けることが出来ます。</p>	<p>受診は本人や家族の希望する、かかりつけ医になっている。内科は月に2回、歯科は訪問診療、皮膚科や眼科は家族が同行している。状況により職員が対応することもある。緊急時や24時間医療連携体制ができている。受診結果は家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々の関わりの中でこつた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・入居者に異常がある時は看護師に報告、看護師はDr指示を得るように、又 他の部所の看護師とも連携を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院先の係りの方との連携を取り次のステップへDrとの話し合いを設けています。家族が安心できるように家族とも連絡を取っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・一番は本人がどこで過ごしたいか、家族はどうしたいか、Dr、家族、職員で話し合の結果重度化した時、全力でケアに努めています。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針を入居時に、本人や家族に説明し同意書をもっている。重度化した場合は、医師・家族・職員で話し合い、安心して納得した支援ができるように取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・全体会議や職員会議で職員は出来るように訓練しています。緊急時の取り組みも把握できています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・火災、地震、水害、夜間想定での訓練を行っています。地域住民も訓練に参加してくれています。消防署立会いのもとで行っています。</p>	<p>消防署協力のもと年に2回昼夜想定で地震や水害を兼ねて、避難訓練や避難経路・避難場所の確認を行っている。自主訓練は年に1回実施している。車椅子の利用者は居室ドアに表示をしている。自治会長や地域住民・関連施設の協力体制を築いている。災害時の水や米・缶詰・とろみ食品等を備蓄している。ヘルメットや利用者の災害用頭巾も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>・認知症があっても先輩高齢者として敬い、尊敬し大事にケアをさせてもらっています。</p>	<p>人格の尊重を重視したマニュアルを作成している。トイレ誘導や更衣・入室などの気配りをしている。法人の勉強会に参加して、グループホームでも毎月勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>・常に訴えや希望を傾聴しています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・本人の状態や様子を観察しながら、本人ペース大事にして強制はしないように心がけています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>・好きな服装、髪型、髪染めパーマ、本人の希望に合わせている、</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・毎日献立が変わることの楽しみがあるようです。食事の好みに添って管理栄養士に依頼することもある。疾病に合わせた料理も行っています。</p>	<p>嗜好調査を実施し、嫌いなものは代替食品を行い、個々に応じた形態で提供している。外食に出かけたり、行事食や花見・お正月・誕生日等、食事を楽しむように取り組んでいる。切干大根やゴーヤ等の保存食を一緒に作り、食生活を楽しむことができるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事や水分摂取量を毎回チェックし記録確認して不足分は補うよう努力しています。代替えを提供しています。</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・毎食後口腔ケアを行っています。出来ない入居者は介助しています。</p>	/	/
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・トイレ排泄を促していましたが状態悪化にておむつになる入居者もおられる、本人希望者はトイレ使用を手伝っています。</p>	<p>排泄チェック表でトイレの時間や回数を把握して、トイレ誘導したり介助している。羞恥心や不安のないよう気配りして、水分補給や食生活にも気をつけている。おむつの種類も考えて、個々に合わせた支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・おやつに芋や繊維のある物水分補給に力を入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・本人が入りたいとき、朝、午後関係なく入浴をしています。	入浴は週に2回を基本に自由な時間に入浴の支援を行っている。一般浴と機械浴の準備がある。2人介助や3人介助で支援することもある。必要時にシャワー浴や足浴も対応している。脱衣所の温度差や更衣時の羞恥心に気配りしている。入浴剤も使用して入浴を楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・在宅での生活習慣を壊すことなく本人のペースに合わせて夜間不眠の時は日中休息して貰っております。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬確認と記録を残しております、定期往診や状態は常にDr、Ns報告しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・役割をしてもらっていますが認知症進行に伴い、忘れることが多くなってきていますが職員の声掛けで一緒にしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・初詣・花見・ドライブや家族も一緒に花見は行きました、家族によっては誕生日に合わせて外食、ドライブをされる。	日常的にはゆっくり散歩をしたり、洗濯物を干したりして外気浴をしている。年間行事をたてて初詣や花見等の事業所の行事や地域の行事に参加している。利用者の誕生日会は、家族も一緒に食事をしたり、家族の協力があり、利用者全員が外出支援ができています。個別の外出やお墓参りは家族が協力している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・入居者の状態に合わせて財布保持している。 ・外出時は財布を持参してもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	・いつでもTELは掛けられるよう支援しています。時間として20：30まで（相手に迷惑が掛からないように）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共用空間はいつも掃除し、換気や照明に気を付けて、人数が多い時は地域交流室を使用してゆったりした広さの中で楽しんでもらっています。</li> </ul>	<p>ホールは広くゆったりしている。空気清浄器があり、空調管理がされている。廊下も広く車いすの移動が楽である。窓からの採光が入り不快な臭いはない。ホールや壁の飾りつけは、手作り作品が飾ってあり家庭的な雰囲気がある。キッチンも食堂に面しており、対話ができる。地域交流室があり、訪問者にお茶を出したり、多目的室の機能があり居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下にソファを置いたりいつでも利用できるようにしている</li> <li>リビングは仲良く食べられるように席替えをしています</li> <li>入居者同士の争いを避ける。</li> </ul>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅で使用していた馴染みの物を持ち込んでおります、配置は本人、家族に聞きながら設置配慮しています。</li> </ul>	<p>居室は南向きで窓が大きく、日当たりが良い。カーテンの色彩も柔らかく、各部屋に空気清浄機が置かれている。入り口の手すりは安全に出入りができるような工夫がある。家から持ち込まれたテレビやタンス・位牌・家族写真・故郷の写真などがあり、居心地よく過ごせるようになっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・トイレも広さを十分に取り車椅子でも自由に動ける、ローカも幅広く取り行き違いが楽にできます、窓を立て長く広く部屋が明るく生活できます。カーテンは目に優しい色や柄を使用している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない